

## 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 令和6年度の業務実績に関する評価結果の反映状況

地方独立行政法人法第29条に基づく評価結果の年度計画及び業務運営の改善への反映状況については、以下のとおりである。

令和6年度評価における意見	年度計画・業務運営の改善への反映状況
<p><b>足柄上病院</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原市立病院との連携について、取組を推進していく必要がある。</li> <li>・常勤医師の確保について、早急に取り組む必要がある。</li> </ul>	<p><b>足柄上病院の対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.10ほか）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小田原市立病院と県立足柄上病院の連携と協力に係る基本協定書」に基づく連携及び協力の強化</li> <li>・「足柄上病院に係る医師確保手当」による足柄上病院の医師の確保</li> <li>・初期臨床研修プログラムに基づく臨床研修及び自治医科大学卒業生に対する臨床研修</li> </ul>
<p><b>こども医療センター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人移行期医療に係る成人期の医療機関との連携の構築について、引き続き推進していく必要がある。</li> </ul>	<p><b>こども医療センターの対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.12）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多職種による「みらい支援外来」における支援、円滑な成人移行のための丁寧な自立支援及び成人期の医療機関との連携</li> </ul>
<p><b>精神医療センター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体併存疾患のある患者への対応の充実を図ること。</li> </ul>	<p><b>精神医療センターの対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.13）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体合併症に対応する医師配置の検討及び身体科病院との連携強化</li> </ul>
<p><b>がんセンター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーション部門の人員体制について、検討する必要がある。</li> </ul>	<p><b>がんセンターの対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.14）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーション部門の積極的な介入</li> </ul>
<p><b>循環器呼吸器病センター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・併存疾患を有する患者の増加に対して、他病院等と連携を図る必要がある。</li> </ul>	<p><b>循環器呼吸器病センターの対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.14）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・併存疾患を有した高齢者への医療に対する他病院等との連携及び総合的な医療の提供</li> </ul>
<p><b>質の高い医療を提供するための基盤整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専攻医及び足柄上病院の常勤医師の確保について、取組を検討する必要がある。</li> <li>・医療技術職員に対する人材育成について、取組を検討する必要がある。</li> <li>・人材育成にあたり、今後も研修等の充実を図る必要がある。</li> </ul>	<p><b>質の高い医療を提供するための基盤整備に係る対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.2ほか）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「足柄上病院に係る医師確保手当」による足柄上病院の医師の確保</li> <li>・初期臨床研修プログラムに基づく臨床研修及び自治医科大学卒業生に対する臨床研修</li> <li>・医師派遣に係る連携・協力大学の拡大</li> <li>・公募や医師の人的ネットワークを活用した優秀な人材の確保</li> <li>・（薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師）人材育成プログラムの実施及び必要に応じた見直し</li> <li>・（上記職種を除く医療技術職員）人材育成プログラムの策定及び試行</li> <li>・採用経過年数に応じた階層別研修や業務別研修</li> </ul>

令和6年度評価における意見	年度計画・業務運営の改善への反映状況
<p><b>患者や家族、地域から信頼される医療の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者待ち時間の短縮について、取組を検討する必要がある。</li> <li>・相談業務については、患者目線での周知等の対応が必要。</li> <li>・インフォームド・コンセントなどの患者目線の取組や、クオリティ・インディケーターなどの診療の質評価体制の整備について、取組を進めていく必要がある。</li> <li>・こども医療センター及びがんセンターで基準値を上回るレジオネラ属菌の検出があり、こども医療センターでは令和2年度に続き短期間に複数回発生したことを受け、院内の感染対策については、引き続き感染防止体制の強化を図っていく必要がある。</li> </ul>	<p><b>患者や家族、地域から信頼される医療の提供に係る対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.8ほか）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診の効率化や患者待ち時間の短縮へ向けたシステムの導入及び運用</li> <li>・院内掲示やホームページによる、患者相談窓口等の分かりやすい情報提供</li> <li>・インフォームド・コンセント委員会での外部委員の専任</li> <li>・医療の質の向上に繋がる定量的な指標による目標設定、測定、評価及び公表</li> <li>・「神奈川県立病院機構におけるレジオネラ対策に係る取組方針」に基づく、設備の維持管理及び定期的な確認</li> </ul>
<p><b>県の施策との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想の実現に向け、さらに地域との連携を図る必要ある。</li> </ul>	<p><b>県の施策との連携に係る対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.5）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療機関との機能分化・連携強化</li> <li>・入退院支援等、地域の医療機関や介護・福祉施設等との連携強化</li> <li>・地域の医療機関や介護・福祉施設等との情報共有</li> </ul>
<p><b>適正な業務の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療のクオリティを統率、管理する部門の設置について、設置にいたらなかった病院があったことなどから、事故を未然に防ぐために必要な組織体制の構築については、今後改善していく必要がある。</li> </ul>	<p><b>適正な業務の確保に係る対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.8）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の質の向上に繋がる定量的な指標による目標設定、測定、評価及び公表</li> <li>・院内及び地域連携クリニカルパスの新規作成並びに運用の評価及び改善の推進</li> </ul>
<p><b>収益の確保及び費用の節減</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営環境が厳しさを増す中、より一層の収益確保と費用節減に向けた取組の検討が必要。</li> </ul>	<p><b>収益の確保及び費用の節減に係る対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.17）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理会計としての月次及び四半期実績を用いた経営分析並びに経営改善策の検討及び実施</li> <li>・診療報酬改定を踏まえた入院期間の適正化及び収益確保に資する病床機能体制の検討</li> <li>・診療材料品目の集約による調達コストの削減</li> <li>・本部執務室の移転による賃借料の削減</li> </ul>
<p><b>財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度までは、コロナ関連補助金などの影響により経常収支は黒字となっていたが、令和5年度に補助金の大幅な減額などを受けて赤字となった。最終年度の令和6年度は、入院・外来患者数の減少や、物価・人件費に高騰などにより、経常損益で36億1,800万円、総損益で40億6,200万円の赤字となったことから、早急に抜本的な経営改善に取り組む必要がある。</li> </ul>	<p><b>財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置に係る対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.1）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が令和7年度に設置した県立病院機能のあり方検討会での議論を鑑みて、県と連携しながら、県立病院としての適正な運営や経営基盤の強化を検討するほか、必要に応じて中期計画や年度計画の見直しを進める。</li> </ul>
<p><b>人事に関する計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年次休暇取得日数を増やすなど、労働時間短縮、ワークライフバランスの向上に向けて取り組む必要がある。</li> </ul>	<p><b>人事に関する計画に係る対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.22）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科部長の診療業務調整等による「医師の働き方改革」の推進</li> <li>・宿直翌日の負担軽減措置の活用等を通じた、健康確保及び安全な医療の提供</li> <li>・医師事務作業補助者の増員等によるタスクシェア及日タスクシフトの推進</li> </ul>
<p><b>施設整備・修繕に係る計画の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・足柄上病院の再整備計画については、状況に応じた基本構想の見直しが必要となり、その対応について検討する必要がある。</li> </ul>	<p><b>施設整備・修繕に係る計画の検討に係る対応について、以下のとおり令和8年度年度計画に反映させた。（P.10）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県が令和7年度に設置した県立病院機能のあり方検討会での議論を鑑みて、病院の再編や適正な病床規模への変更に向けた検討を行う。</li> </ul>